



松蔭大学

図書館ニュース



利用者の声

教員のメッセージ

図書館利用案内





<皆さんのクラスメートの声を紹介します>

◆「松蔭大学図書館の魅力を大発掘！」 看護学部 佐藤結菜

皆さんは図書館を利用した事がありますか？私は入学当初から図書館ヘビーユーザーですが、図書館には沢山の魅力が詰まっています。看護系のテキストはもちろん、雑誌やワークブック、国家試験問題など多くの教材を手にとることが出来ます。私の使い方としては1人で黙々と課題を進める「戦場」と化す時があれば、友達と一緒に調べ物をしたり、切磋琢磨しながらレポートを作成する「基地」でもあります。沢山の本に出会う事で視野が広くなり学ぶことが楽しくなります。是非気軽に図書館に来て、隠された魅力に迫ってみてください！



ありがとう、ヘビーユーザさん！ 図書館は、大学の「サードプレイス（第3の居場所）」としても利用できます。皆さん、活用してください。

◆「図書館利用の感想とサービスの改良点」 コミュニケーション文化学部 長谷川鈴

図書館は、リクエスト制度を利用しやすく改良してくださる等、学生に寄り添ってくれる図書館だなと感じ、いつも利用しています。リクエスト本では必要な資料を入手でき、学習や課外活動が今まで以上に充実しています。今後、冬休みや春休み等の長期休暇で学校へ延長の手続きをしに行かなくてもいいよう、2ヶ月間程度貸出が許可される長期貸出のような制度が導入されると、さらに利用しやすくなると感じています。このようにとても素晴らしい図書館なのでこの際足を運んでみてはいかがでしょうか。



貴重な意見ありがとうございます！委員会で検討していきます。
皆さんも、松蔭大学ホームページ図書館サイトからリクエストしてみてください。

◆「図書館の魅力知っていますか？」 コミュニケーション文化学部 米内琉碧

私が図書館を利用する時はたくさんあります。集中して勉強したい時や1人になりたい時に、個室ブースがあるのでそこを利用します。地下と1階にありますが、意外にも電波がよくネットを使った学習も捗ります。プレゼンや課題の資料集めの際にも利用します。ネットには載っていない情報が本にはたくさん詰まっていますそれを抜粋し使用したりもします。おまけに語彙力も高められます。そういった事を友人と一緒に作業している時は楽しいです。



「捗る」は、“はかどる”と読みます。さすが語彙力が高い！
ところで「ビブリアバトル」聞いたことありますか。本の紹介ゲームです。
「全国大学ビブリアバトル」もあるので、ぜひ挑戦してみてください。



<コミュニケーション文化学部、横手拓治先生からのメッセージを紹介します>

松蔭大学生のみなさん、こんにちは。

図書館は「本を探したり、読んだり・借りたりするところ」ですが、それにとどまらない異空間です。「調べ・書く作業をする」「集中して考える」場合はもちろん、逆に情報過多のなか「ぼんやりする」「こころを癒やす」ためにも、ぴったりの施設といえるでしょう。

私は仕事をしながら10冊以上の本を出版しましたが、多くは（自宅の机のほか）専ら図書館で書きました。そのさい、「ぼんやりする」「知らない本と出会って面白がれる」などで、リフレッシュできたことも大いに役に立っています！

Webが発達して、スマホが重宝されるバーチャル時代になったとはいえ、あるいは、そうした時代だからこそ、リアルな異空間にして、一種のオアシスともいえる図書館を上手にご利用ください！

（コミュニケーション文化学部教授 横手拓治）



<横手先生ありがとうございます。下記にいくつか図書館関連サイトを紹介します>

◆横手先生の連載記事

<https://bookplus.nikkei.com/atcl/column/060600526/060600001/>

◆「ビブリオバトル」公式サイト

<https://www.bibliobattle.jp>

◆「サードプレイス」関連書籍

レイ・オルデンバーグ著/忠平美幸訳『サードプレイスー コミュニティの核になる「とびきり居心地よい場所」』みすず書房、2013年発行。





図書館利用案内

★開館日と開館時間（日曜日、祝日、図書館の定める日は閉館です）

月曜日～金曜日 9:00 ～ 18:10

土曜日 9:00 ～ 14:30

★図書、雑誌類（辞書・事典類、貴重書、雑誌や新聞など貸出できない資料もあります）

学生：一人 5冊まで。期間は2週間（学生証を提示）。

教職員：一人 10冊まで。期間は4週間。

★視聴覚資料（DVD、VHSビデオ）

図書館所蔵の視聴覚資料の館内貸出を行なっています。図書館備え付けの「利用申込書」に必要事項を記入し、視聴を申し出てください（学生証提示）。館内1階のAVブースで視聴することができます。自分の視聴覚資料を持ち込んで視聴することも可能です。

★松蔭大学図書館に蔵書が無い場合

1) 松蔭大学ホームページ図書館のサイト (<https://www.shoin-u.ac.jp/campus/library/>) の「学生図書リクエストフォーム」に必要事項を記入して申請してください。図書委員会で承認されれば、購入して配架することができます。

2) その図書を所蔵している図書館から借りる(利用は館内のみ)、必要な箇所のコピーを取り寄せることもできます(送料やコピー料金は自己負担です)。

★電子データベース

電子データベースとは学術雑誌の内容を電子化して、コンピュータで容易に検索・利用できるようにしたものです。下記の電子データベースが館内の蔵書検索端末 No.1、No.2 からアクセスできます。

◆医中誌 Web

医学中央雑誌刊行会が作成・提供している医学関係論文情報の電子データベースです。国内発行の医学・歯学・薬学・看護学・心理学および関連分野の定期刊行物約 7,500 誌から収録した、約 1,600 万件の論文情報を検索することができます。

◆最新看護索引 Web

日本看護協会図書館編集の看護文献データベースです。国内発行の看護学及び周辺領域の雑誌・紀要約 950 誌から収録した約 29 万件の論文情報を検索することができます。

◆看護師国家試験問題 Web

10 年分以上の過去問題やオリジナルの予想問題を収録した国家試験対策の Web サービス。

◆Medical Finder（現在は看護領域のみ）。

医学書院提供の医学・薬学・看護、その関連領域の雑誌記事検索・閲覧サービスです。

※図書館では Wi-Fi も使用できます。

